

## 平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

大桑村

No.	事業項目	事業名
3	「森林を支える豊かな地域づくり」に関する事業	平成 30 年度森林づくり推進支援金事業（景観整備）
事業費 972,000円（うち支援金：686,000円）		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

この地域の山林は急峻な斜面に存しており、上下を村道が通っている。

広域的な森林施業は困難であり、伐採造林も困難。

現状は、伐期を迎えたスギや、大径木となった広葉樹が多く、この木が村道に張り出し、場合によっては落下しかねない。また、林内において、倒木も数多く発生している。

(2) 本事業の目的

おおむね 1.2 km ほど、景観整備を実施する。

本事業においては、全体の起点部となるトンネル上部を含む 0.08ha の竹林の整備を行う。

倒木の危険のある竹木の除去を行い、通行者が安全かつ気持ちよく通行できる村道とする。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 大桑村大字長野 伊奈川地区

(2) 対象者 地権者 1 名  
周辺住民 100 名

(3) 実施方法

伐採箇所は擁壁の上部であるが、旧赤線が通っており、これを利用して伐採を実施した。

(4) 事業目標及び当年度事業量

① 全体計画

1.2 km

② 平成 30 年度実績

100m

0.08ha



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

通行人の安全確保と景観の向上

森林整備に対する森林所有者の意識向上

### (2) 継続性

成熟しきった大径木や竹林を伐採するため、事業後の効果の継続は長期間見込むことができる。また地域での景観維持の意識改善にも大きく寄与すると考えられる。

### (3) 普及性

多くの住民や観光客が通過する村道であることから、同様の森林の所有者への意識改善に対しても普及性が高いと考えられる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

上下を通る村道からの景観がかなり良くなり、道路の凍結等も付帯的に解決された。

今まで見えなかった対岸の風景が確認できるようになった。

### (2) 課題

思った以上に斜度が強い。竹林の割合もかなり高く、地山を支える根となる立木が少ない。

### (3) 今後の取組方向

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

基本的な景観整備事業としての伐採は継続する。

課題に対する解決策として、中低木のツツジやシャクナゲなどの植栽を検討する。